

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: タケモトデンキ株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・「エネルギーのちからですべての家庭に安心安全を届けたい」という経営理念を明文化し、事業所内に掲示して社内にて共有するとともに社外への広報を行っている。								8	9									17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・【予定】1年以内に、社内でのルールを明文化し、法令順守の体制・仕組みを構築する。															16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不当な値引対応を抑制するよう周知している。 ・【予定】1年以内に、不正競争行為の禁止について社内でのルールを明文化し、社員に周知する。										10						16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・【予定】1年以内に、自社の事業が社会、環境にどのような影響を与えているかについて、社内での協議又は研修を行い、担当者や専門部署などの体制を整備する。																	16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・【予定】1年以内に、知的財産の定義、これを守るための取組についてルールを設定し社員に周知する。								8.2	8.3	9									
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・プライバシーポリシーを設定し、ホームページにて公表している。 ・原則的にパソコン等情報の社外持ち出しを抑制するよう周知している。																	16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・「お客様の声」を収集し、その後のフォローや継続的な対話につなげている。 ・取引先などと連携して、一般社団法人熊本みらいエネルギー協会を立ち上げ、エネルギー問題への取り組みを行っている。																	16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・事業パートナーとの間で一般社団法人熊本みらいエネルギー協会を立ち上げ、エネルギー環境に対する定期的な協議、情報交換を行い、適切な対応についての認識を共有し、取り組んでいる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・【予定】1年以内に事業継続計画を策定する。										9		11			13.1		16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・【予定】1年以内に、後継者の育成のための仕組み、対応方法を策定する。									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5				8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメント禁止について就業規則に定めている。 ・昇進、昇格等評価面において、差別をしない扱いをとっている。				4.3	5.1			8.5			10.2					16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・工事における事故防止に対する措置や過去の事故やヒヤリハット事例について、社内にて共有を図っている。 ・【予定】1年以内に、業務中の事故防止に関する一定の指針を作成する予定である。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・雇用条件等に関して、随時顧問弁護士との連携を基に、法令を遵守し、公平公正な待遇を意識している。					5.5			8.5			10.2	10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間を削減することを社員に周知させ、各社員の毎月の労働時間について確認を行っている。 ・【予定】1年以内に、社員の仕事上だけでなく、家庭内の事情について相談しやすい環境を整備する。			3		5.5			8.5	8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講、各種資格の取得を奨励している。 ・良好な職場環境の情勢や従業員の能力開発など適切なマネジメントを実施できるようOJT、OffJT(社内研修)を実施している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・従業員に対して健康維持・向上を呼び掛け、定期的な運動を推奨している。 ・除菌脱臭装置の設置によりウイルス対策を行っている。			3					8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や、昇進・昇格等に人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。 ・役員、管理職に女性を登用しており、女性従業員比率は70%ほどである。				4.4	5.1	5.5		8.5			10.2	10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議の積極的導入、会議の短縮化を図り、定期的に換気をしている。 ・事業所内にアクリル板を設置し、マスク着用の徹底を図っている。			3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・【予定】1年以内に、業務効率化のために、電子申請システム等オンライン化を推進し(申請手続きの20%程度増加)、従業員の教育を行う。								8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●					3	4				8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: タケモトデンキ株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・【予定】1年以内に、自社からどのような廃棄物が、どの程度排出しているかを把握し、管理のための措置を社員に周知する。 ・社内でプラスチックごみ、レジ袋の削減を周知している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・社用車として一部EV車を導入している。 ・【予定】1年以内にLED電球の使用率を20%程度向上させる。 ・【予定】1年以内に簡易計算シート等を基礎としたエネルギー使用量の算出を図る。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・社用車として一部EV車を導入しており、CO2排出抑制に取り組んでいる。 ・【予定】1年以内に簡易計算シート等を基礎としたCO2排出量の算出を図る。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・太陽光発電設備を普及させることでクリーンエネルギーへの転換を図っており、生態系への悪影響を減少させている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・社内での情報伝達は紙媒体ではなく、共有ツールを使うことで資源の有効活用やごみ削減をおこなっている。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・【予定】1年以内に、事業所内の水道設備に節水器具をとりつける(設置率50%程度)。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・【予定】1年以内に、社内でグリーン購入についての理解を深め利用を推進する。 ・太陽光パネルの仕入に際し、環境負荷の少ない商品の選択を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●									6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・太陽光パネルや蓄電池を設置し、事業所の節電に取り組んでいる。 ・オール電化の普及促進に寄与したとして九州電力株式会社から感謝状を受けている(令和3年3月15日)							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: タケモトデンキ株式会社

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・顧客へのアンケート等意見を取り入れ、顧客が継続的に利用可能な製品、工事、サービスを行っている。 ・顧客、従業員の安全性を高めるため、社内で安全管理規定を定め、これを共有している。 ・エネルギーマネジメントアドバイザーの認定(一般社団法人日本PVプランナー協会)やエキスパート工事店の認定(パナソニック株式会社)を受けており、より高品質なサービスを提供可能としている。 ・工事やサービスについて、誰もがわかりやすい説明を行い、十分な理解を求めるよう社員に周知を行っている。 ・移動が困難な顧客に対しては、自社が直接訪問することで消費難民を減らす取組みを行っている。			3.9							9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●											9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7						12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		・環境負荷が少なく災害に強い製品、サービス(太陽光、蓄電池、オール電化製品)の普及のための啓発を行っている。 ・【予定】一般社団法人熊本みらいエネルギー協会(自社代表者が代表理事となっている。)し、現在NPO法人くまもと温暖化対策センターとZEH、蓄電池、省エネ家電普及促進協議会の参加を調整しており、1年以内には参加する予定である。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15				17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域住民を対象とし、電化製品を利用した料理教室の開催を行っている(現在新型コロナウイルスの影響で中断)。 ・【予定】1年以内に、環境を意識したワークショップ(リサイクルやクリーンエネルギーに関するもの)の開催を予定している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・HP、SNSなどで災害時の注意点を公表し、社内での共有を図っている。 ・【予定】1年以内に、ハザードマップの確認と事前防災対策の検討を開始する。 ・自社の使命として「災害に強い家を創る」旨を明文化し、事業所内に掲示している。				4							11.5		13.1			16					
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●		・災害時のための蓄電池の普及を促進し、顧客や従業員に対して防災意識を普及している。									9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		・【予定】1年以内に、自社のSDGsに対する取組みについて、顧客や従業員に対し、周知を図るとともにSDGsの普及啓発を行う。 ・国境なき医師団日本に対して寄付を行い、感謝状を受けたことがあり(2013年)、今後も社会課題の解決につながるような寄付を継続していく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●						4				8.6		10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●		・【予定】1年以内に、県内の新卒を雇用する取組み(採用基準の設定等)を開始する。				4.4					8.5 8.6									17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17		

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。